

平成28年10月の鉱工業活動
図表集

平成28年12月14日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年10月の鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	98.4	98.3	108.6	114.2
前月比	0.0%	2.0%	-2.1%	-0.6%
指数水準	—	H27.10 98.6以来 I H20.1, 2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H26.4 106.7以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H28.8 113.6以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	—	2か月連続+ (H28.9~当月)	2か月連続- (H28.9~当月)	2か月ぶり- (H28.8以来)
前月比幅	—	H28.1 2.0%以来 (超)H27.10 2.6%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H28.7 -2.4%以来 ①H23.3 -5.8% ②H21.2 -3.9% ③H21.3 -3.1%	H28.8 -3.2%以来 ①H23.6 -11.7% ②H21.6 -6.7% ③H21.3 -6.0%
前年同月比(原指数)	-1.4%	-2.0%	-3.0%	1.1%
前年同月比の動き	3か月ぶり- (H28.7以来)	3か月ぶり- (H28.7以来)	4か月連続- (H28.7~当月)	3か月ぶり+ (H28.7以来)
前年同月比幅	H28.7 -4.2%以来 ①H21.2 -37.2% ②H21.3 -32.7% ③H21.4 -30.0%	H28.7 -4.0%以来 ①H21.2 -36.1% ②H21.3 -32.1% ③H21.1 -30.9%	H26.2 -3.2%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H28.7 4.0%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

(注) I~IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

平成28年10月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を 上昇 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 上昇方向へ引っ張った業種の 上昇への影響度(寄与度)合計 7862.7%pt </div>	1位の業種	電子部品・デバイス工業	4.6%	3601.8%pt
	品目	電子部品	4.2%	1644.3%pt
		集積回路	4.6%	1366.5%pt
	2位の業種	金属製品工業	3.7%	1337.9%pt
	品目	建設用金属製品	25.6%	1425.2%pt
		その他の金属製品	1.8%	279.8%pt
	3位の業種	プラスチック製品工業	1.9%	964.2%pt
品目				
鉱工業生産を 低下 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 低下方向へ引っ張った業種の 低下への影響度(寄与度)合計 -7699.6%pt </div>	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	-1.6%	-2418.9%pt
	品目	運搬機械	-32.4%	-1954.1%pt
		半導体・フラットパネル製造装置	-6.6%	-1546.1%pt
	2位の業種	電気機械工業	-2.9%	-1936.3%pt
	品目	回転電気機械	-6.9%	-745.3%pt
		配線・照明用器具	-12.1%	-680.7%pt
	3位の業種	輸送機械工業	-0.6%	-1147.4%pt
品目	航空機	-13.0%	-1907.6%pt	
	トラック	-5.9%	-770.2%pt	

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある。

平成28年10月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	2.3%	1756.5%pt
	2位	電子部品	4.2%	1644.3%pt
	3位	建設用金属製品	25.6%	1425.2%pt
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	運搬機械	-32.4%	-1954.1%pt
	2位	航空機	-13.0%	-1907.6%pt
	3位	半導体・フラットパネル製造装置	-6.6%	-1546.1%pt

<財別＝用途別>

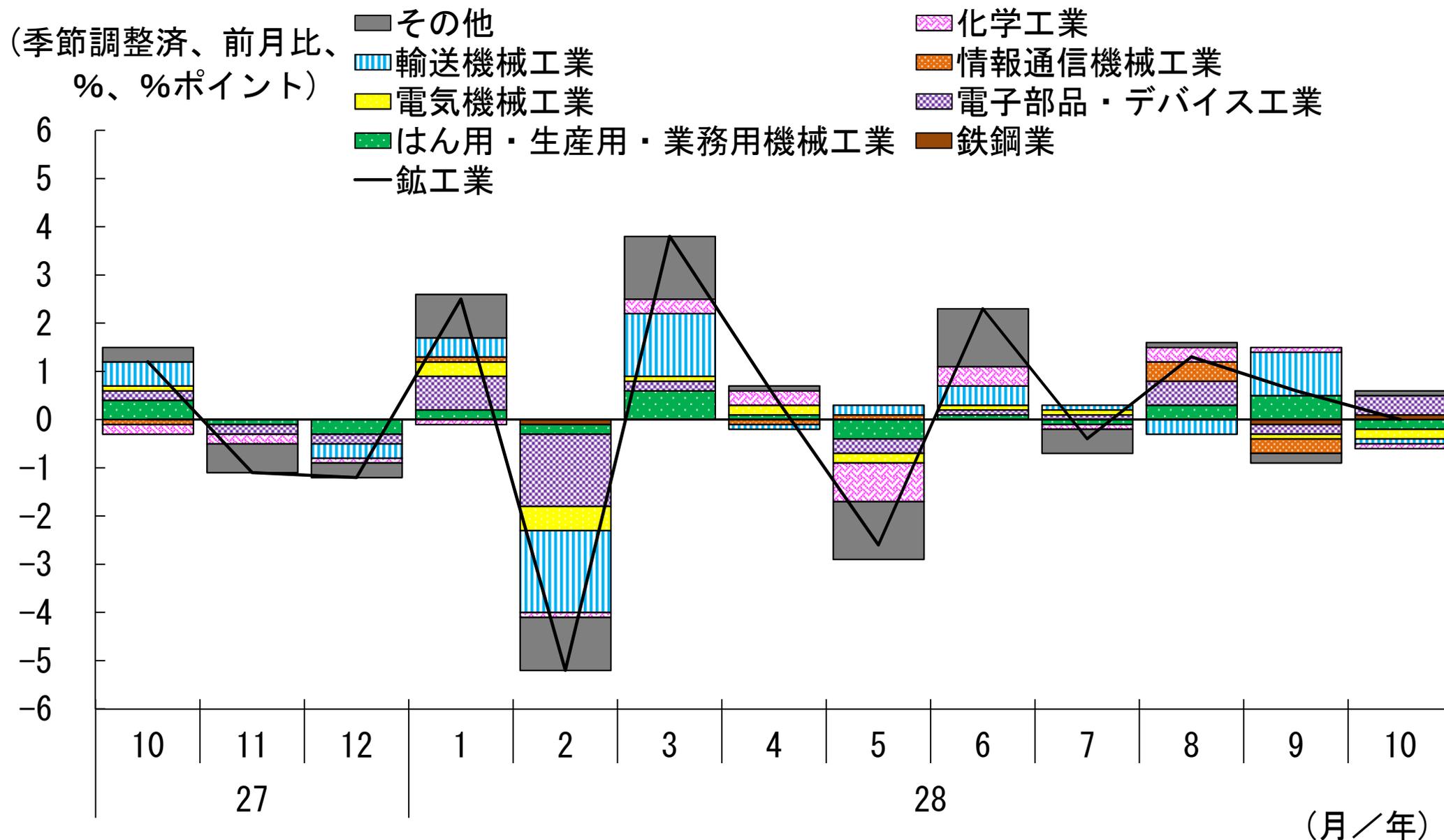
	解説	品目名	前月比	寄与度
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	3.8%	1973.0%pt
		橋りょう	42.2%	869.2%pt
		鋼管製管継手	18.6%	236.9%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	1.3%	1314.8%pt
		普通乗用車	2.7%	1324.1%pt
		小型乗用車	12.8%	1247.8%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.7%	937.7%pt
		美容液	10.6%	518.0%pt
		化粧品	10.3%	467.6%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-0.2%	-1010.1%pt
		航空機用発動部品	-23.2%	-1759.4%pt
		自動車用電気照明器具	-13.9%	-581.6%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	-1.1%	-1671.0%pt
		半導体製造装置	-15.9%	-3340.0%pt
		クレーン	-61.5%	-966.7%pt

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産指数への業種別寄与度分解

- 平成28年10月の生産指数は、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したものの、電子部品・デバイス工業などは上昇し、全体としては前月比0.0%の横ばい。

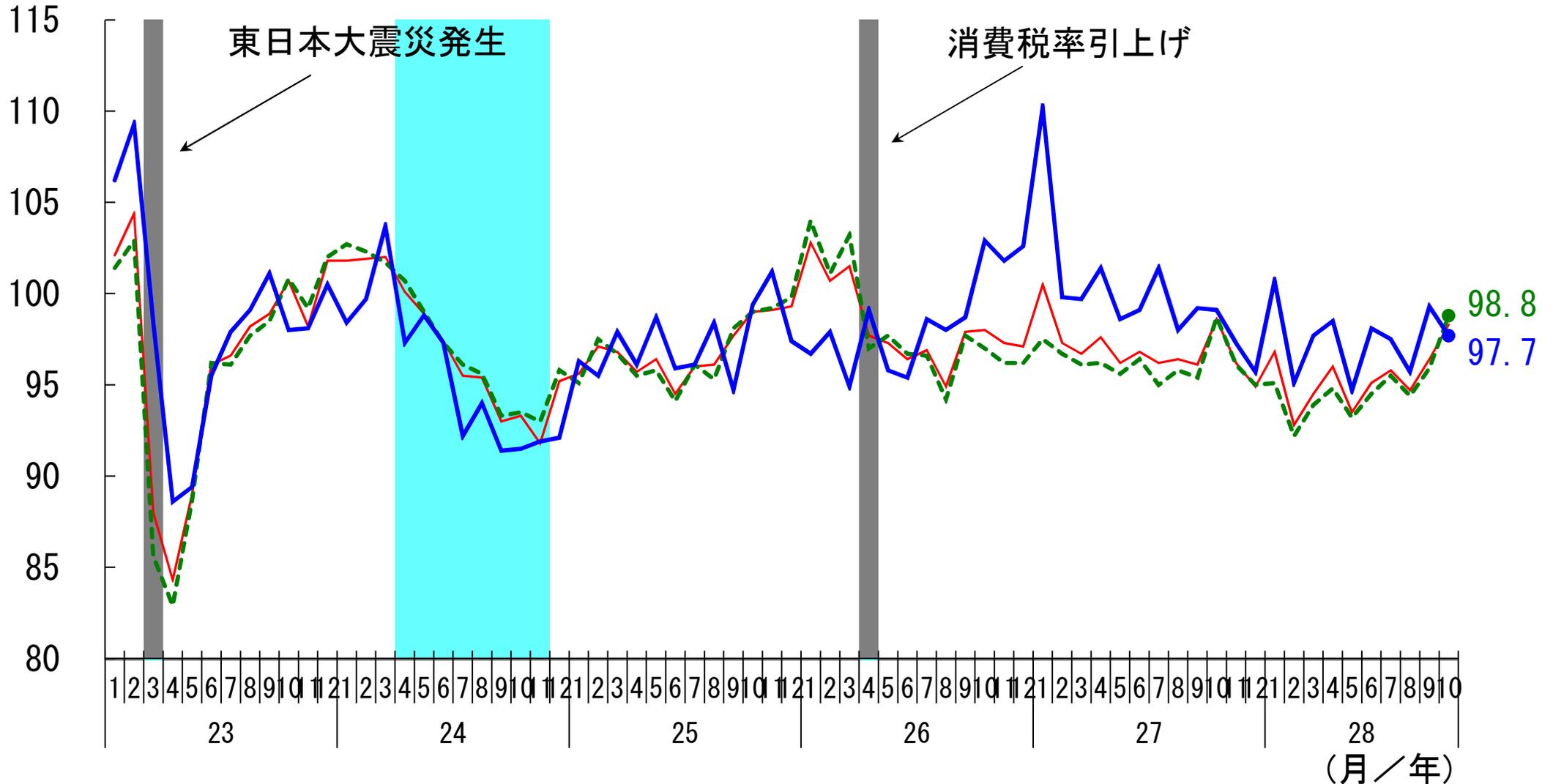


国内向け／輸出向け出荷の動向

・平成28年10月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは98.8(前月比3.0%)と2か月連続の上昇、輸出向けは97.7(前月比-1.6%)と2か月ぶりの低下。

(22年=100、季節調整済)

— 鉱工業出荷 - - - 国内向け — 輸出向け



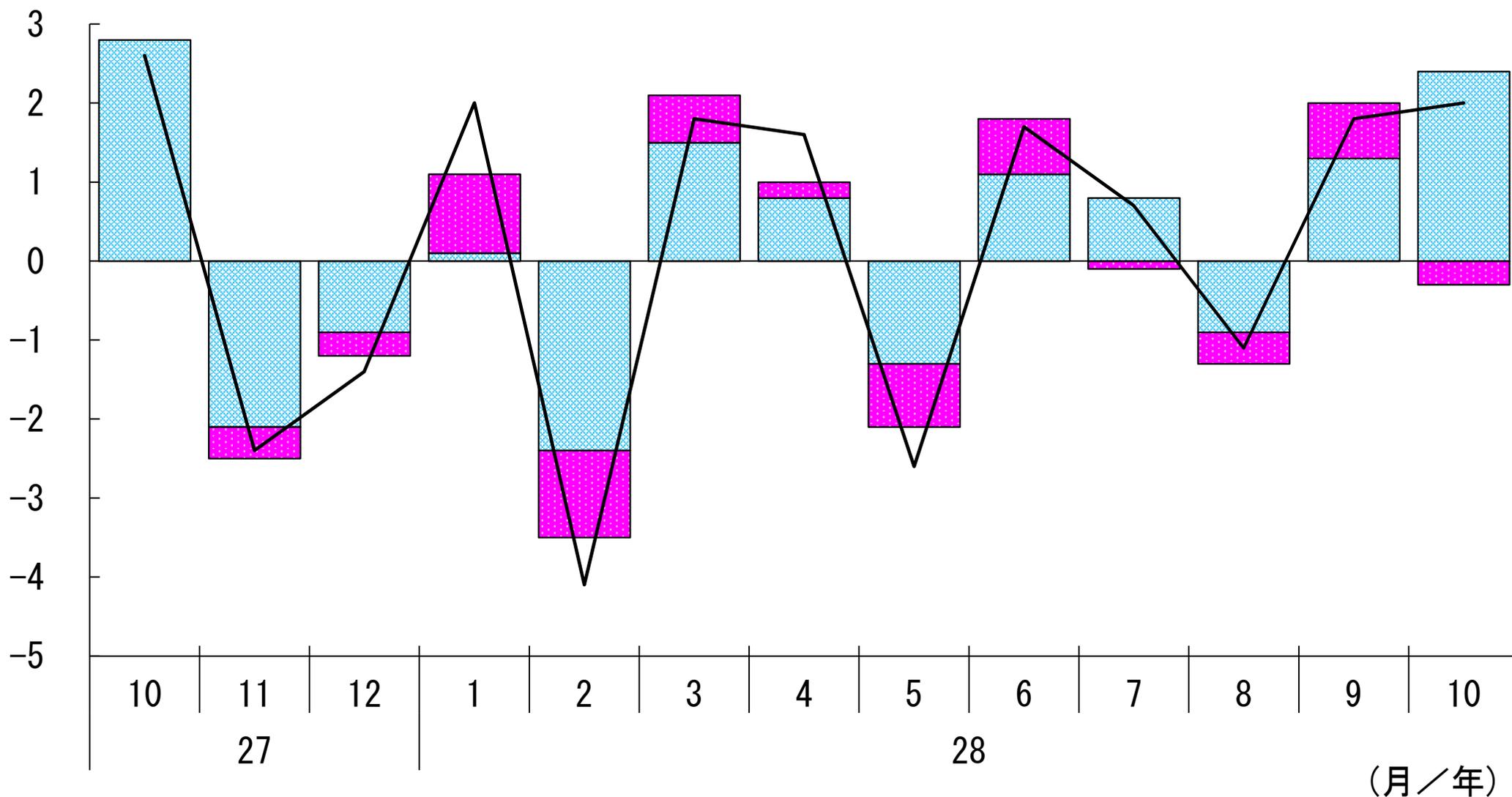
(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋳工業出荷への国内向け／輸出向け別寄与度分解

- 平成28年10月の鋳工業出荷は輸出向けは低下したものの、国内向けは上昇したため、前月比2.0%の上昇。

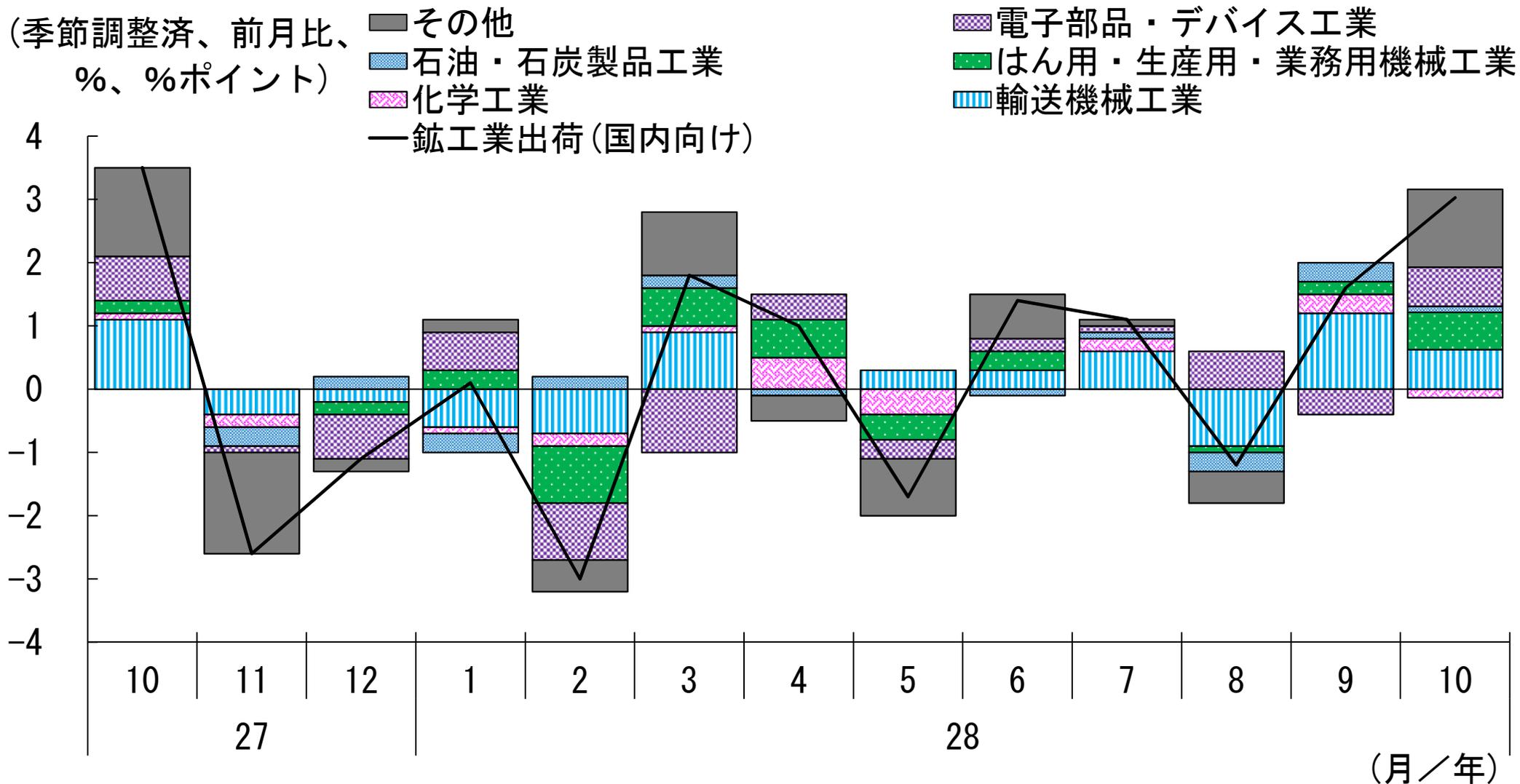
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 輸出向け ■ 国内向け — 鋳工業出荷



国内向け出荷への業種別寄与度分解

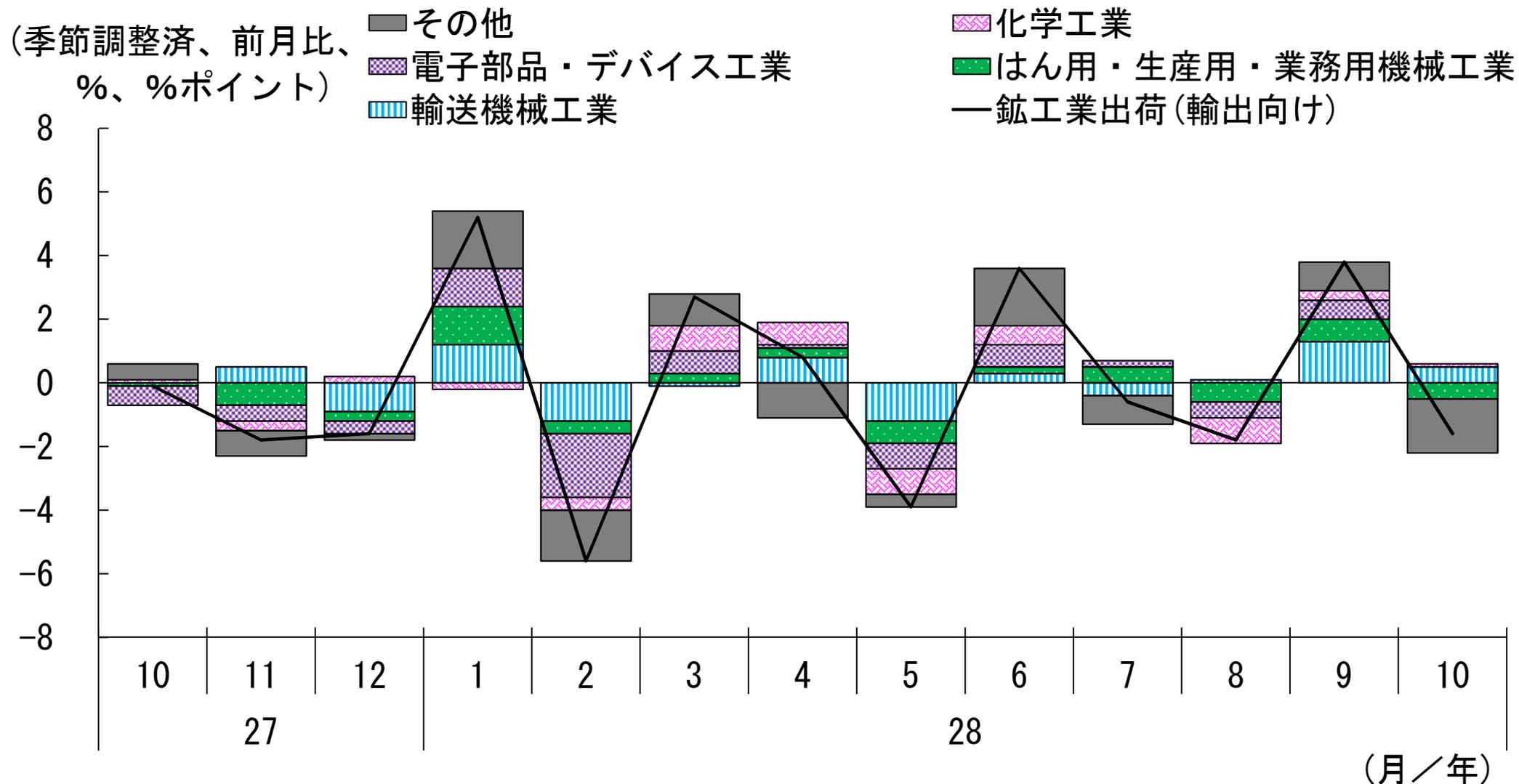
平成28年10月の国内向け出荷を、主要業種別にみると、化学工業が低下したものの、輸送機械工業などが上昇。



(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

輸出向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年10月の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下。

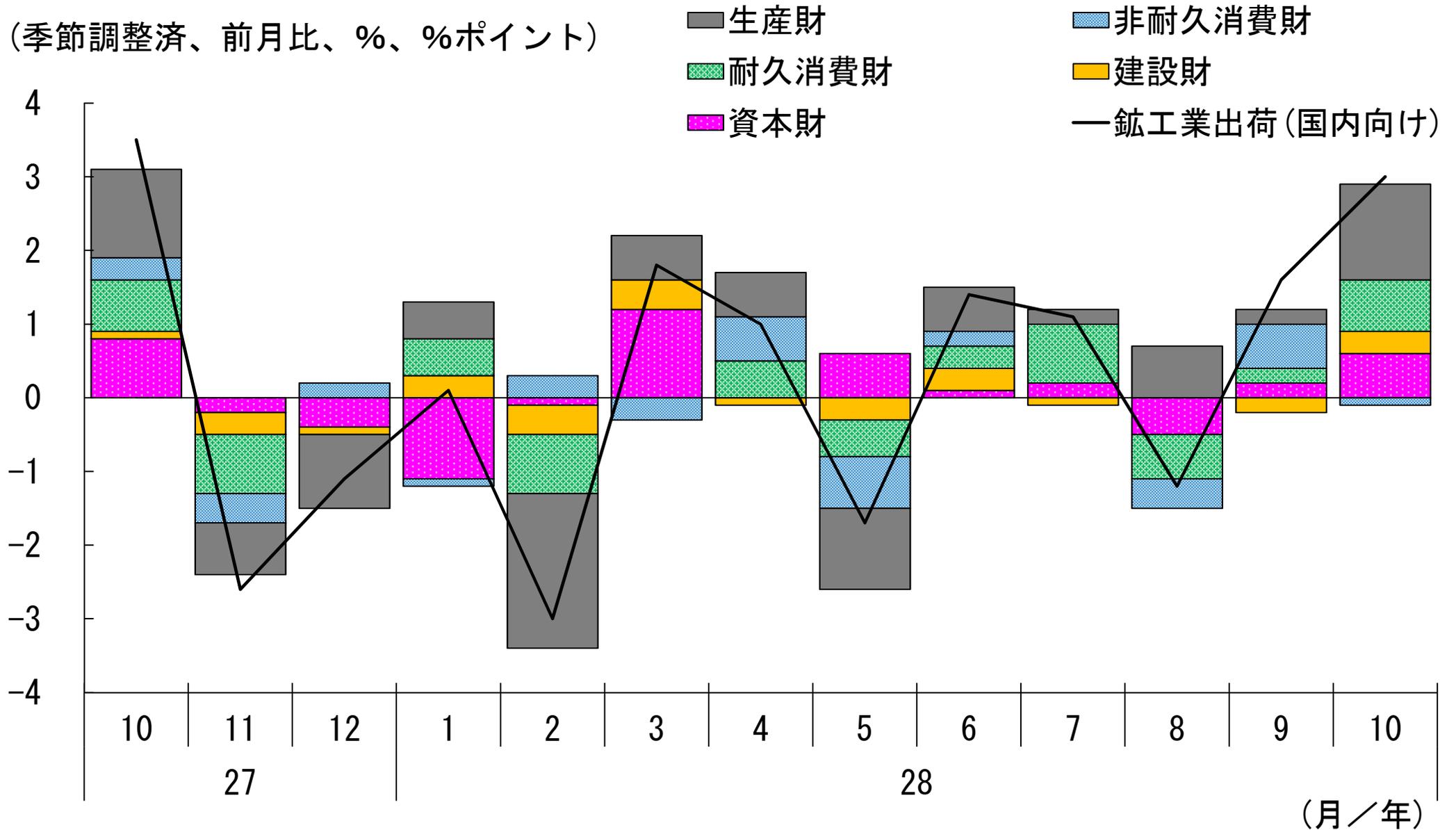


(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

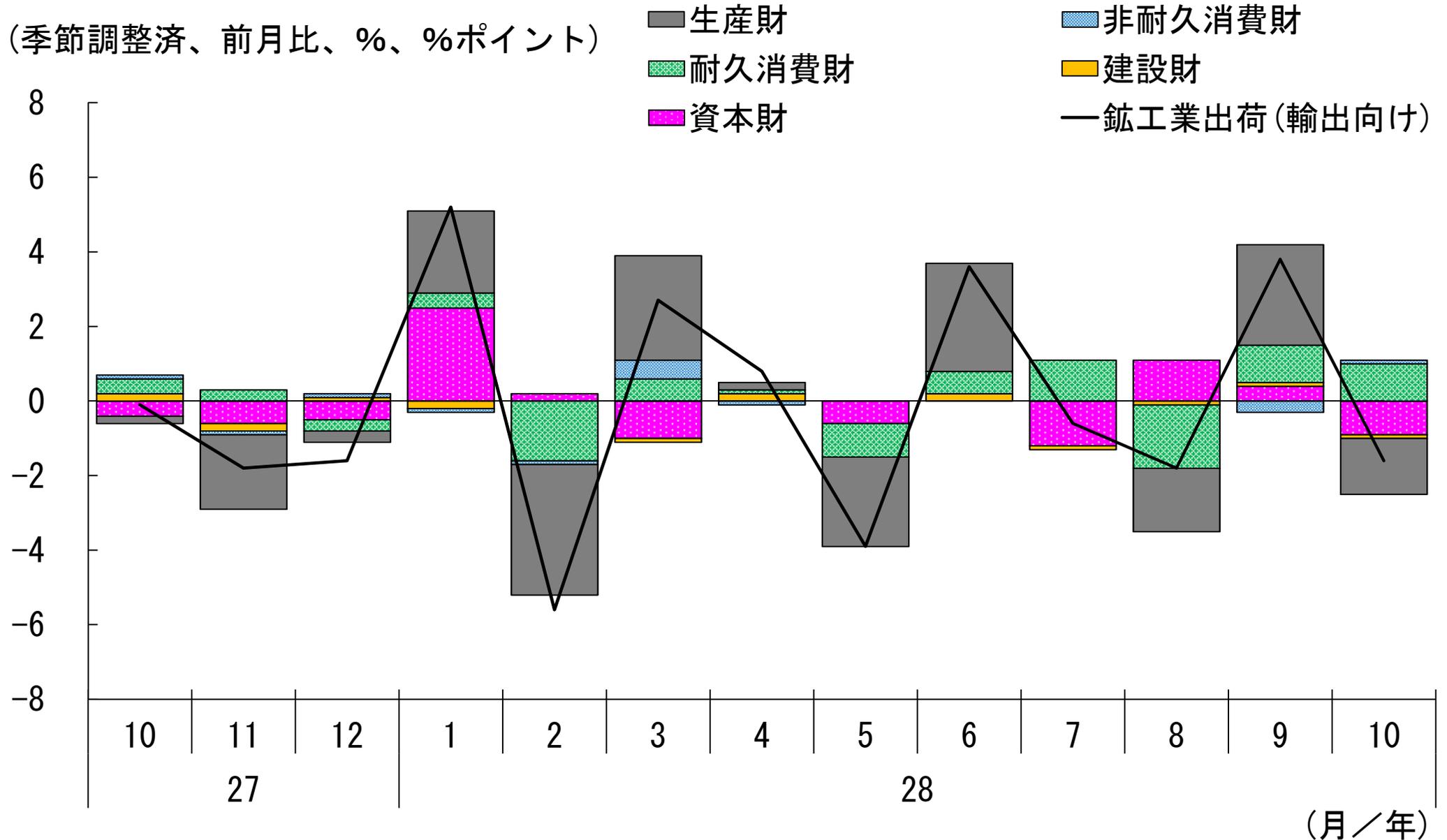
国内向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年10月の国内向け出荷を、財別に見ると、非耐久消費財が低下したものの、生産財などが上昇。



輸出向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年10月の輸出向け出荷を、財別にみると、耐久消費財などが上昇したものの、生産財などが低下。



平成28年10月の国内向け出荷への財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	3.0	122.5
鉱工業用生産財	2.8	48.1
電子部品・デバイス工業	9.5	25.2
鉄鋼業	10.9	22.8
耐久消費財	5.7	29.7
輸送機械工業	7.6	29.6
情報通信機械工業	0.9	0.5
資本財	3.0	22.6
はん用・生産用・業務用機械工業	5.8	22.5
輸送機械工業	3.2	6.8
建設財	4.1	10.2
金属製品工業	5.4	5.6
鉄鋼業	7.2	2.3
その他用生産財	1.4	3.1
石油・石炭製品工業	2.2	2.9
プラスチック製品工業	12.4	2.1
非耐久消費財	-0.5	-2.9
化学工業	-3.6	-6.9
食料品・たばこ工業	-1.7	-4.1

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)試算値。

平成28年10月の輸出向け出荷への財別・業種別の変動寄与

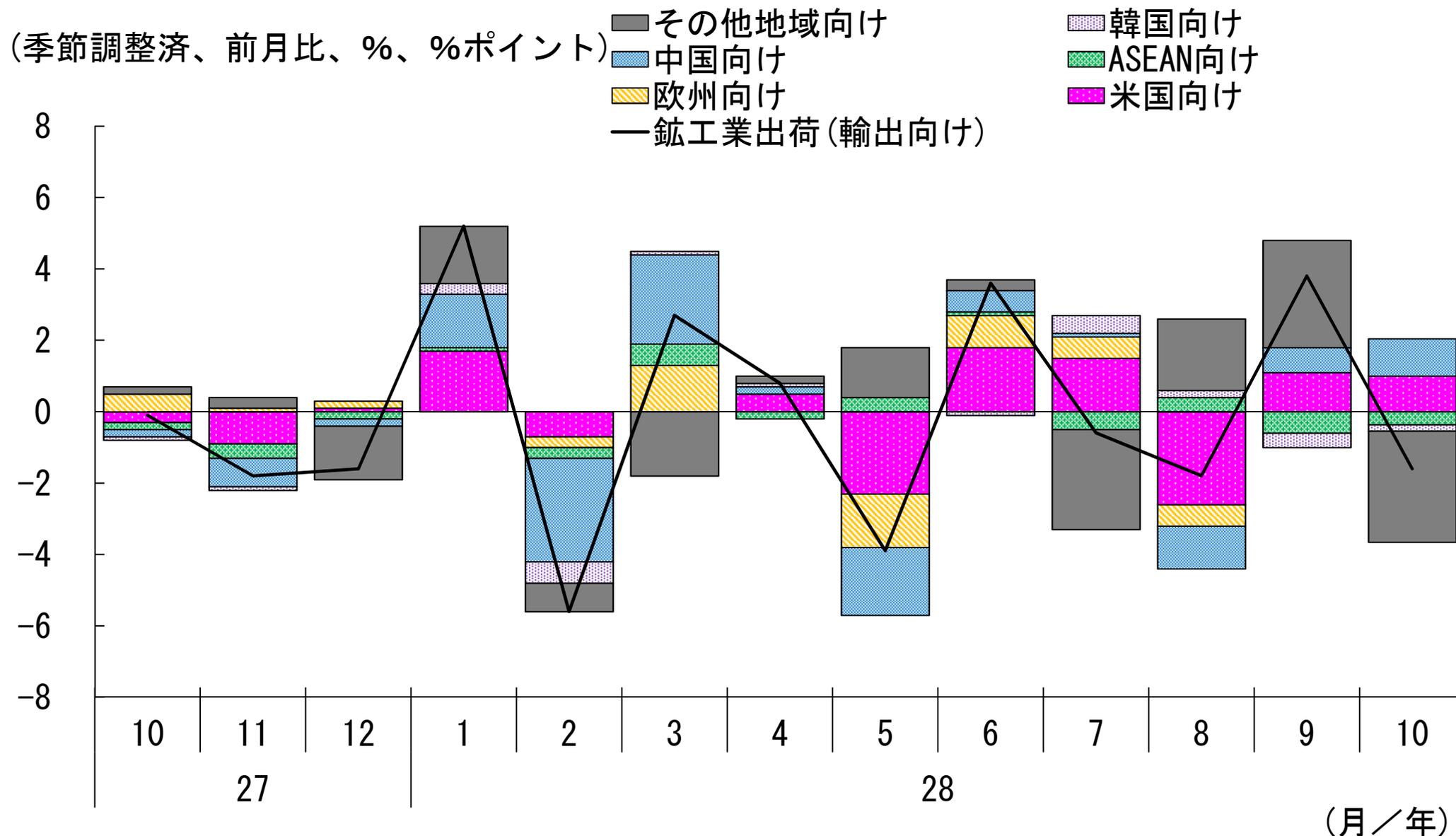
財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	-1.6	-16.6
鉱工業用生産財	-1.7	-10.1
はん用・生産用・業務用機械工業	-4.0	-1.9
プラスチック製品工業	-6.4	-1.3
資本財	-4.8	-9.7
輸送機械工業	-8.4	-4.8
はん用・生産用・業務用機械工業	-2.0	-2.2
その他用生産財	-9.4	-3.4
石油・石炭製品工業	-11.9	-2.2
その他工業	-8.0	-0.5
建設財	-5.3	-1.1
プラスチック製品工業	-14.0	-1.0
金属製品工業	-28.3	-0.6
非耐久消費財	4.6	1.4
化学工業	8.2	1.3
石油・石炭製品工業	16.8	0.4
耐久消費財	7.8	10.6
輸送機械工業	10.0	11.5
情報通信機械工業	7.2	0.5

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)試算値。

輸出向け出荷への地域別寄与度分解

- 平成28年10月の輸出向け出荷を、地域別にみると、中国向けなどが上昇したものの、その他地域向けなどが低下。

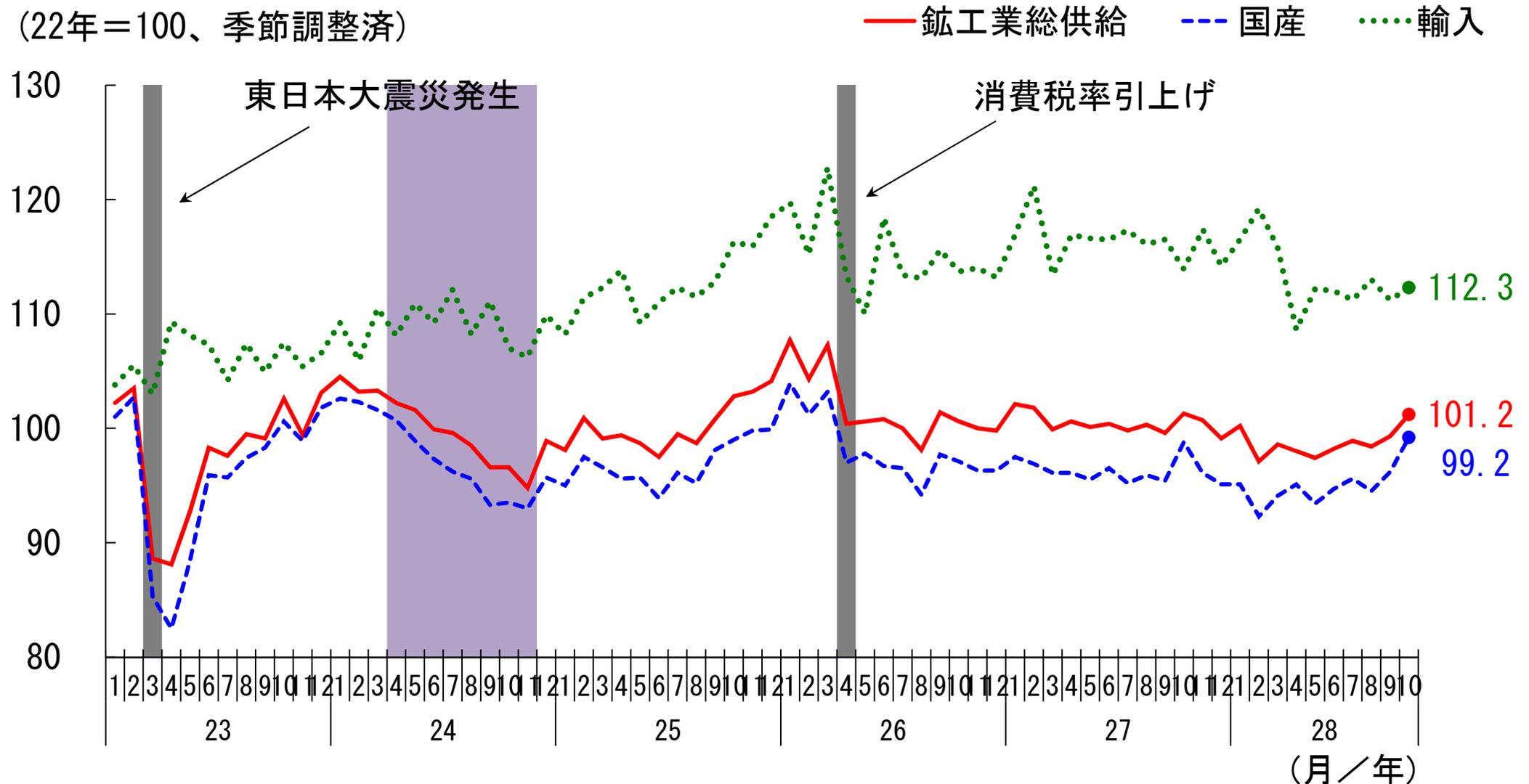


(注) 試算値。

鉍工業総供給指数の動向

- ・平成28年10月の鉍工業総供給指数は101.2(前月比1.9%)と2か月連続の上昇。
- ・内訳をみると、国産は99.2(前月比3.1%)と2か月連続の上昇、輸入は112.3(前月比1.0%)と2か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)

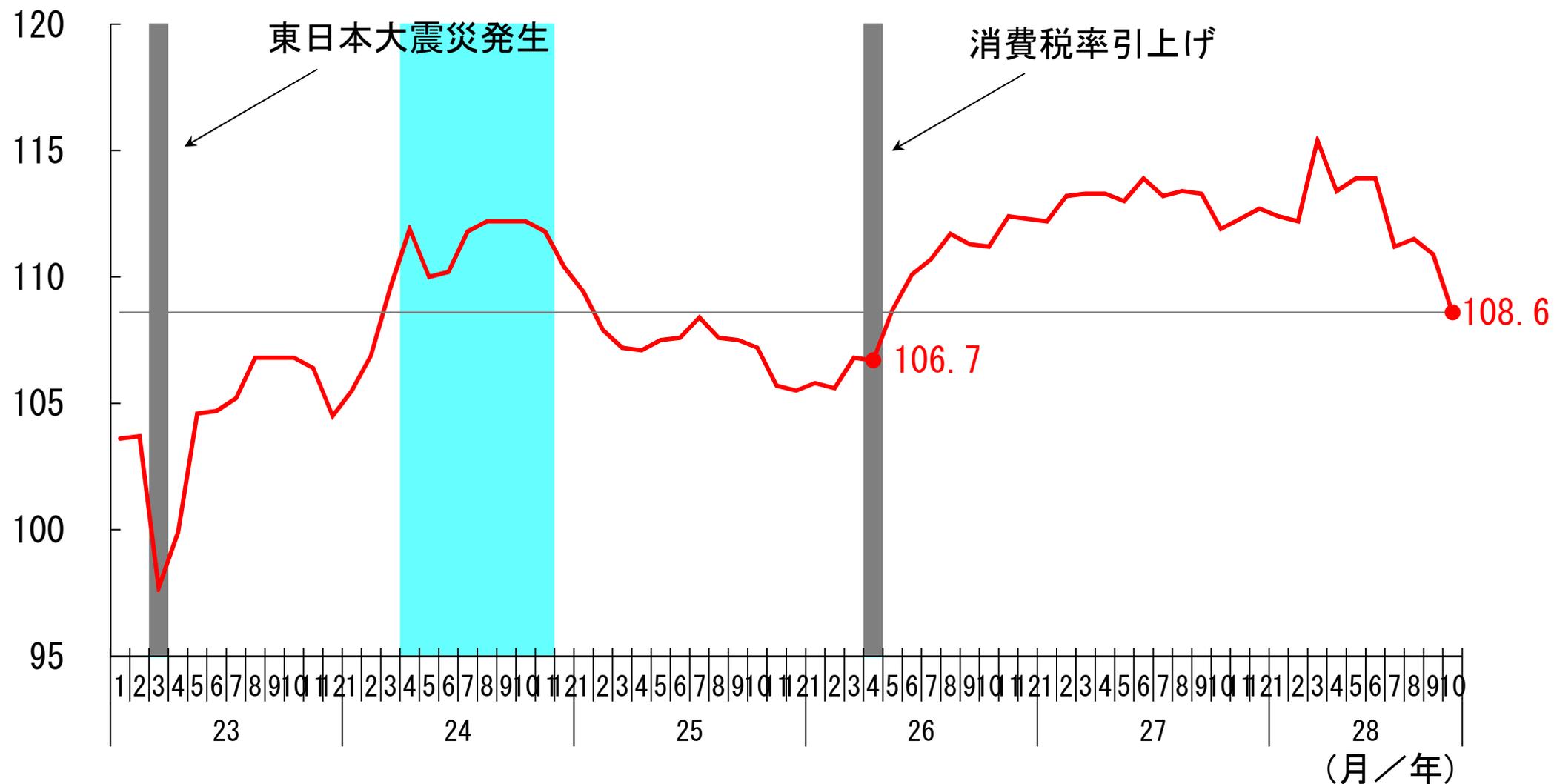


(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

鉱工業在庫指数の動向

- ・平成28年10月の在庫指数は108.6(前月比-2.1%)と2か月連続の低下。
- ・平成26年4月の106.7以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

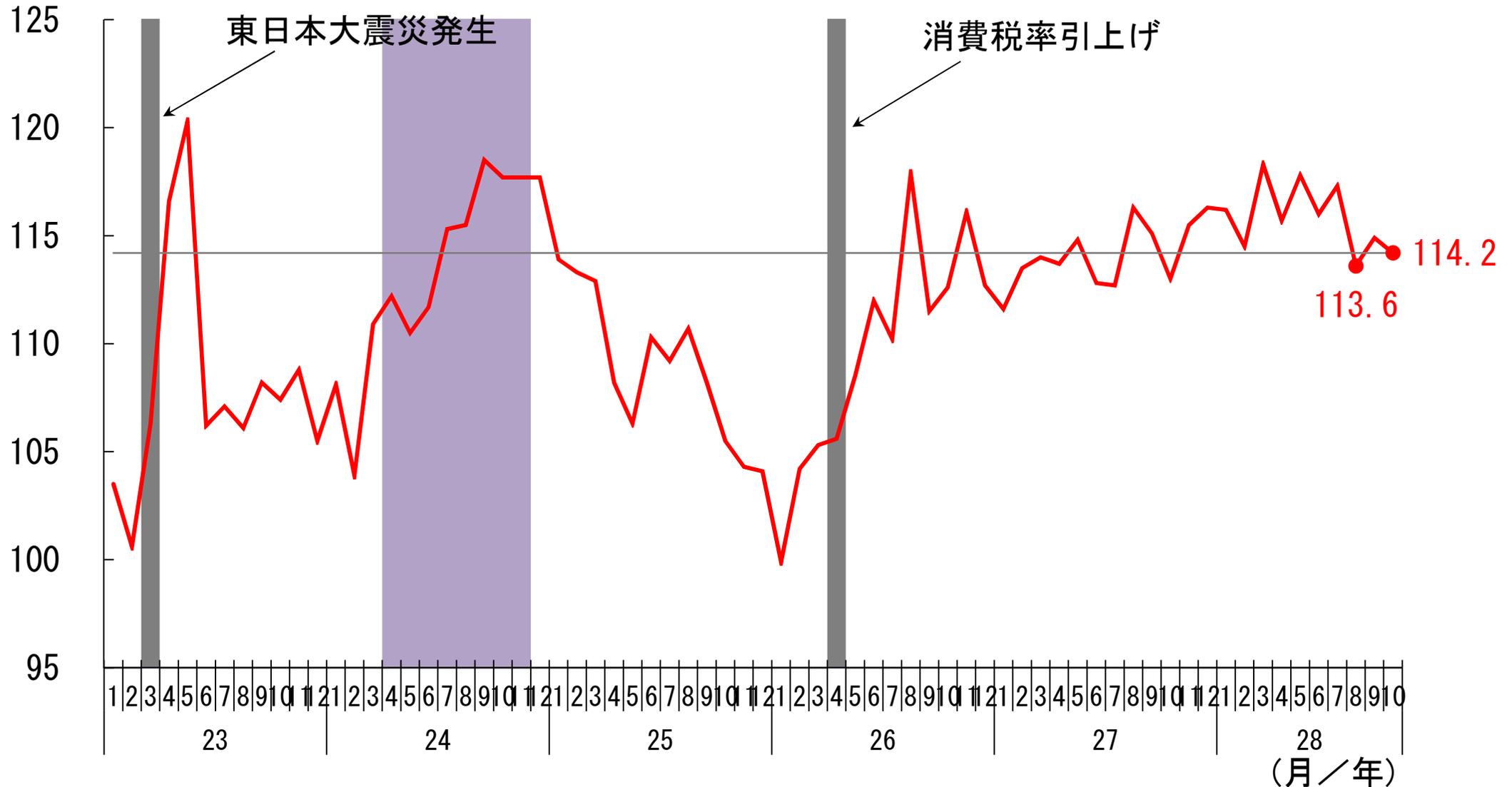


(注)水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋁工業在庫率指数の動向

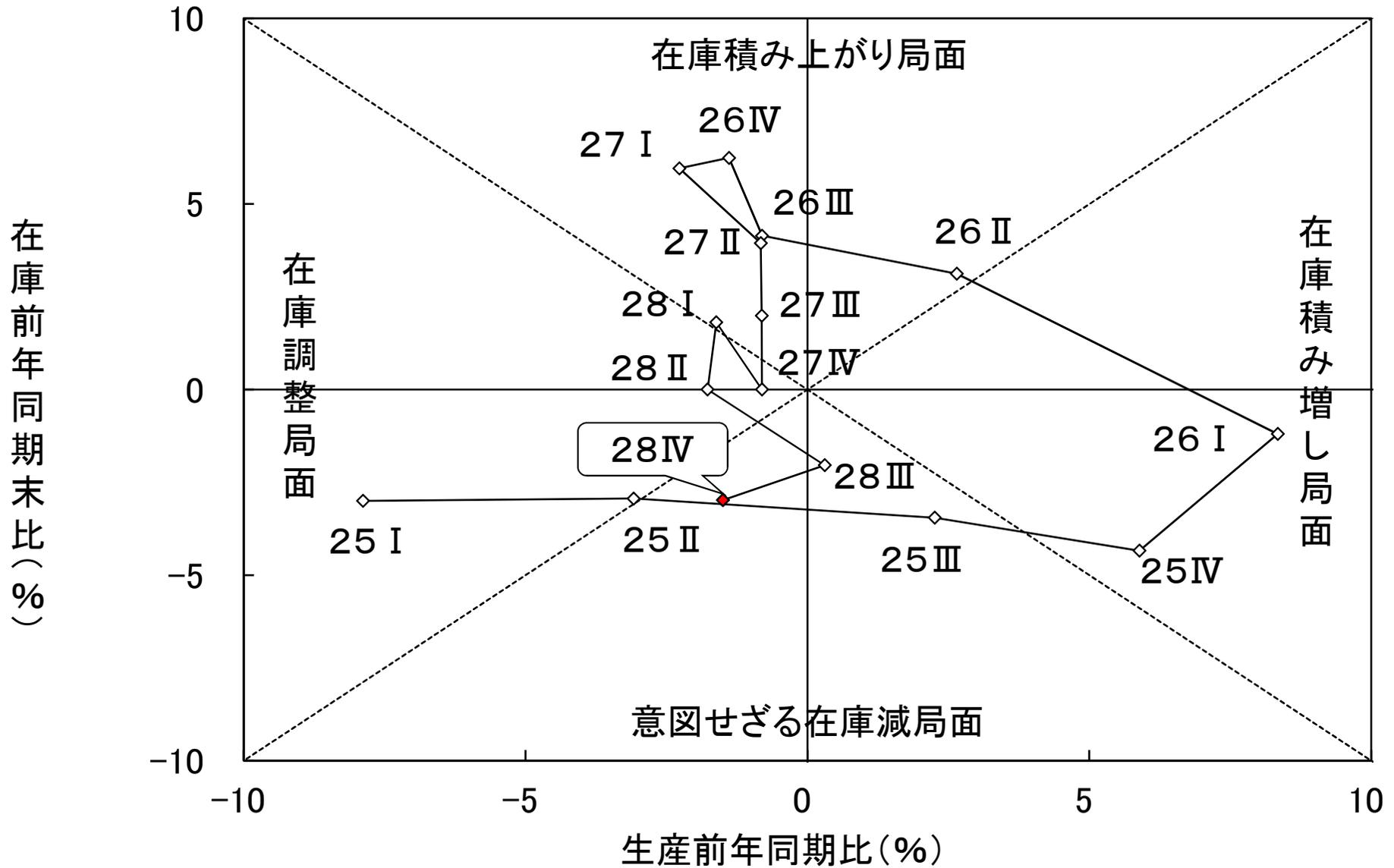
- ・平成28年10月の在庫率指数は114.2(前月比-0.6%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成28年8月の113.6以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面。

鋁工業の在庫循環図



(注) 「28IV」は、平成28年10月値を使用。

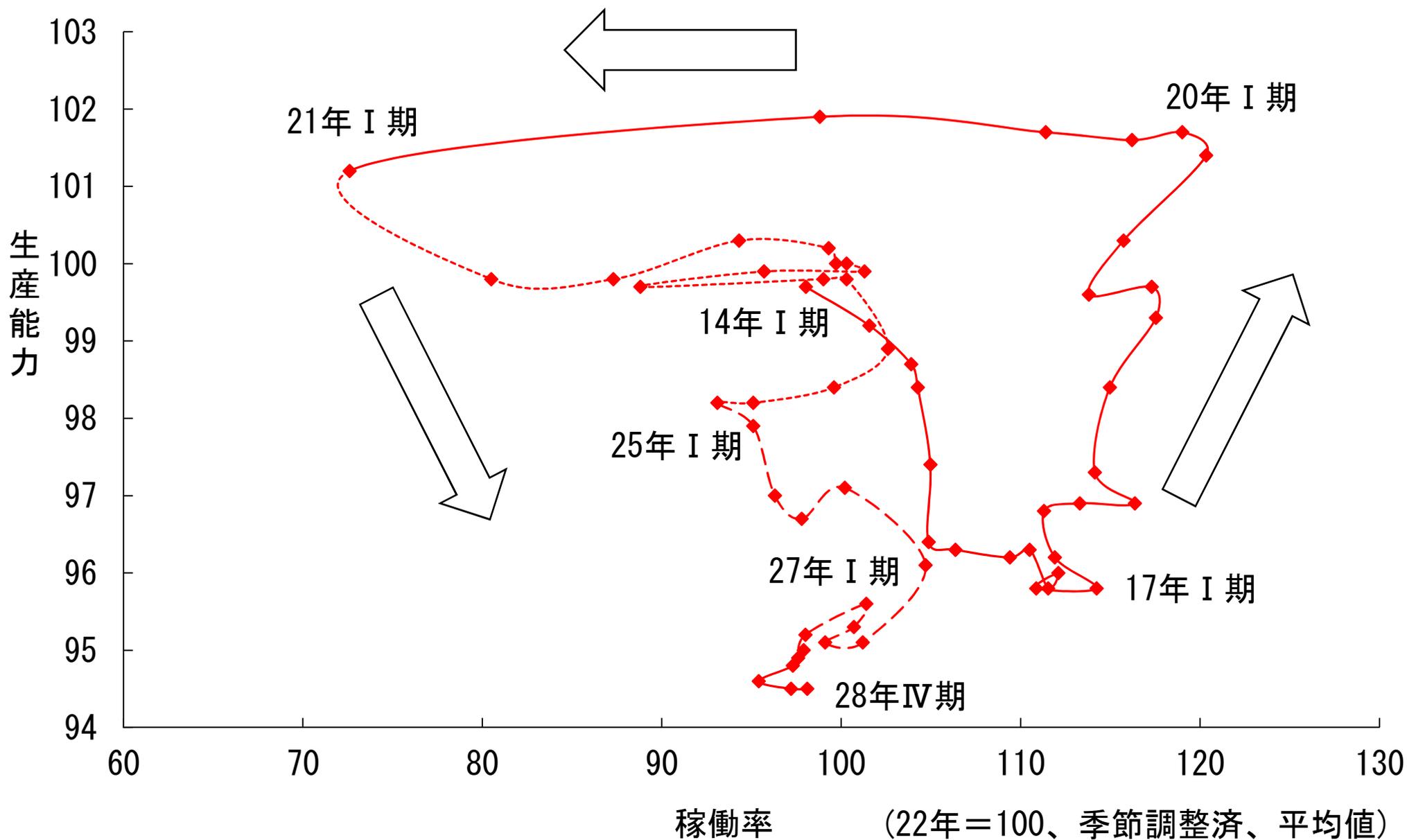
平成28年10月の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率		能力		機械工業	非機械工業
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
季調済指数	98.1	97.6	98.8	94.5 (原指数)	95.9 (原指数)	92.5 (原指数)
前月比	1.4%	2.2%	0.2%	0.0%	0.2%	-0.2%
指数水準	H28.8 98.7以来 I H20.2 119.4 II H20.1 118.8 III H20.3 118.7	H28.8 97.7以来 I H20.2 125.7 II H20.3 124.6 III H20.1 124.4	H28.8 99.2以来 I H20.1 110.8 II H20.2 110.7 III H20.3 110.4	—	H27.12 95.9以来 (超)H27.11 96.0以来 I H20.11 101.6 II H20.12 101.5 III H23.10 101.4	22年基準最低水準 ①H28.10 92.5 ②H28.8,9 92.7 ③H28.7 92.8
前月比の動き	2か月ぶり+ (H28.8以来)	2か月ぶり+ (H28.8以来)	2か月ぶり+ (H28.8以来)	—	2か月連続+ (H28.9~当月)	2か月ぶり- (H28.8以来)
前月比幅	H28.8 2.6%以来 I H23.5 14.4% II H21.4 9.8% III H23.6 6.5%	H28.8 2.2%以来 (超)H28.3 4.3%以来 I H23.5 24.0% II H23.6 10.2% III H21.4 9.9%	H28.8 1.7%以来 I H21.4 8.2% II H23.5 4.1% III H21.5 3.2%	—	H27.10 0.4%以来 I H21.10 1.1% II H25.10 0.8% III H20.11, H23.10 0.6%	H28.7 -0.2%以来 (超)H28.4 -0.4%以来 ①H26.4 -1.0% ②H21.10, H22.1, 7, H23.1, H24.4, H28.4 -0.4%
前年同月比(原指数)	-1.9%	-2.9%	-0.5%	-0.6%	-0.2%	-1.3%
前年同月比の動き	2か月連続- (H28.9~当月)	2か月連続- (H28.9~当月)	2か月連続- (H28.9~当月)	15か月連続- (H27.8~当月)	3か月ぶり- (H28.7以来)	97か月連続- (H20.10~当月)
前年同月比幅	H28.7 -4.6%以来 ①H21.2 -43.9% ②H21.3 -40.5% ③H21.1 -35.0%	H28.7 -6.1%以来 ①H21.2 -50.8% ②H21.3 -46.1% ③H21.1 -40.7%	H28.9 -1.0%以来 ①H21.2 -32.0% ②H21.3 -30.7% ③H21.1 -25.8%	H28.7 -0.8%以来 ①H21.7, 8, H26.11 -2.1% ②H26.1, 2, 4, 6, 10 -2.0% ③H21.9, H26.12 -1.9%	H28.7 -0.5%以来 ①H21.8 -2.7% ②H21.7, H25.7, H26.1, 2 -2.6%	H28.5 -1.5%以来 ①H22.12, H23.1 -2.1% ②H22.9, 11, H23.2, 5, 6, H26.4 -2.0%

(注) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

稼働率と生産能力の循環図(製造工業)

(22年=100、原指数、期末値)

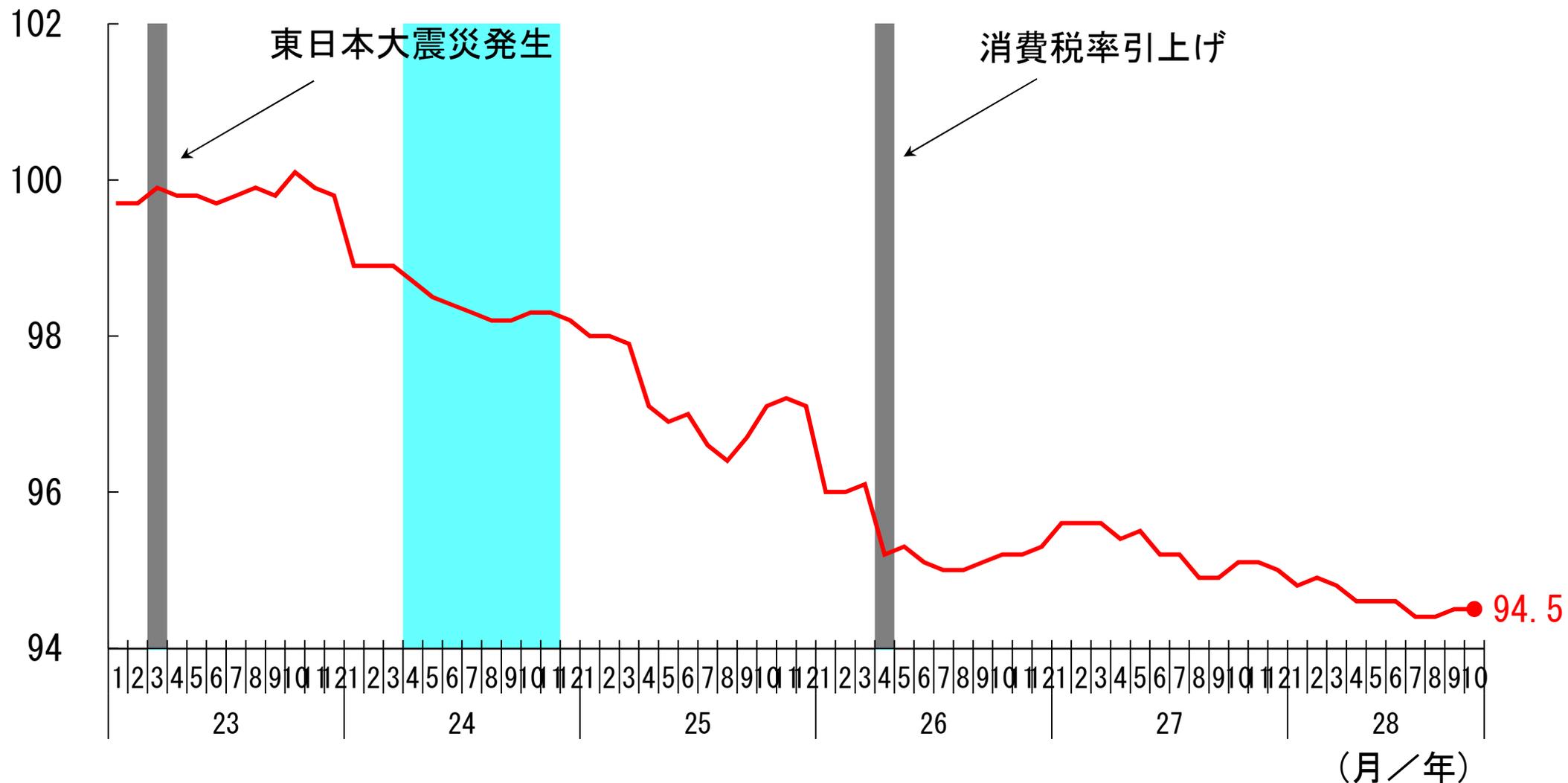


(注) 「28年IV期」は、平成28年10月値を使用。

製造工業生産能力指数の動向

・平成28年10月の製造工業生産能力指数は94.5(前月比0.0%)と横ばい。

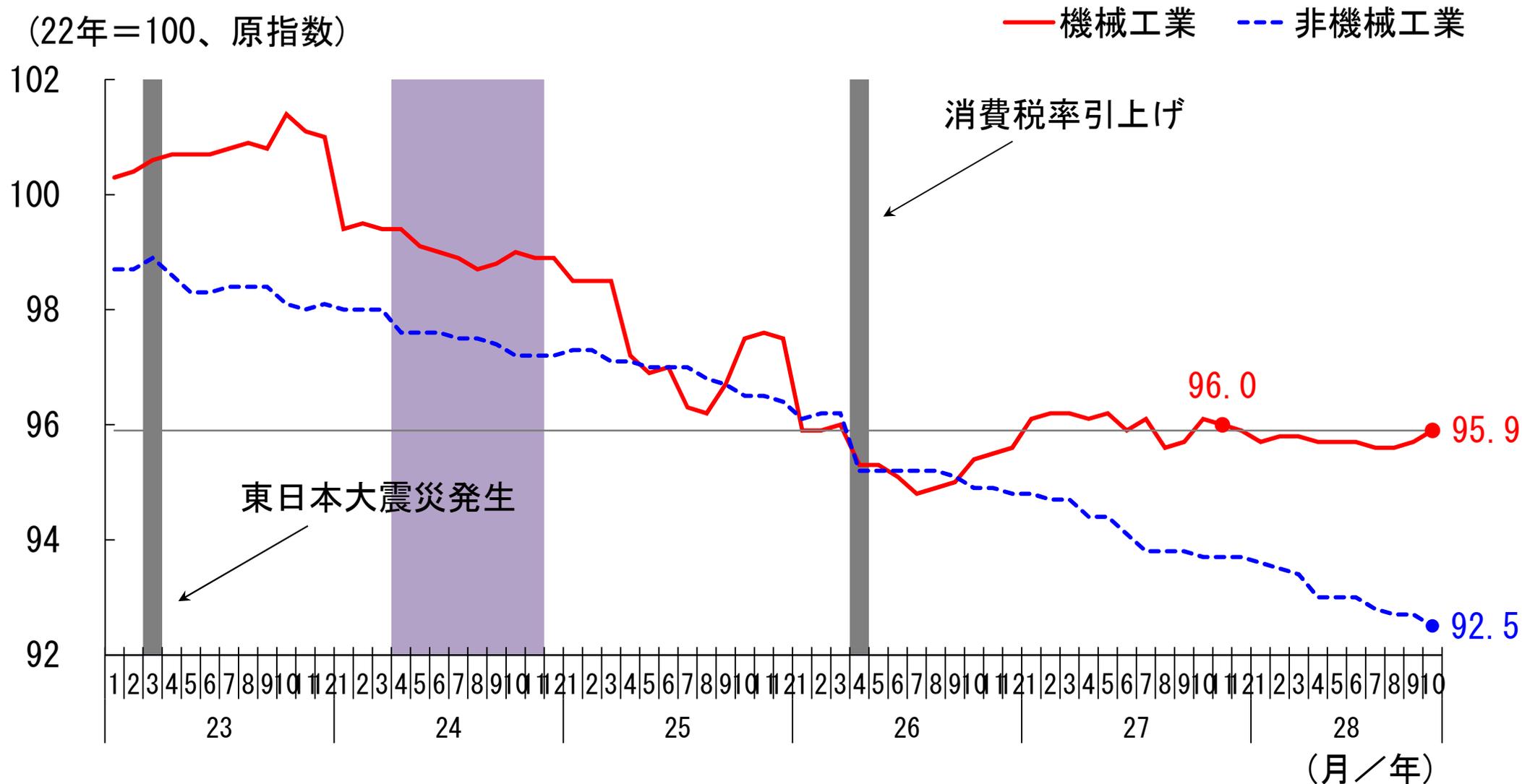
(22年=100、原指数)



(注) 1. 製造工業生産能力指数とは、月々の製造工業の生産能力を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。
2. 水色のシャドー一部分は景気後退局面。

機械工業と非機械工業の生産能力指数の動向

- 平成28年10月の機械工業の生産能力指数は95.9(前月比0.2%)と2か月連続の上昇。
平成27年11月の96.0以来の指数水準。
- 非機械工業の生産能力指数は92.5(前月比-0.2%)と2か月ぶりの低下。



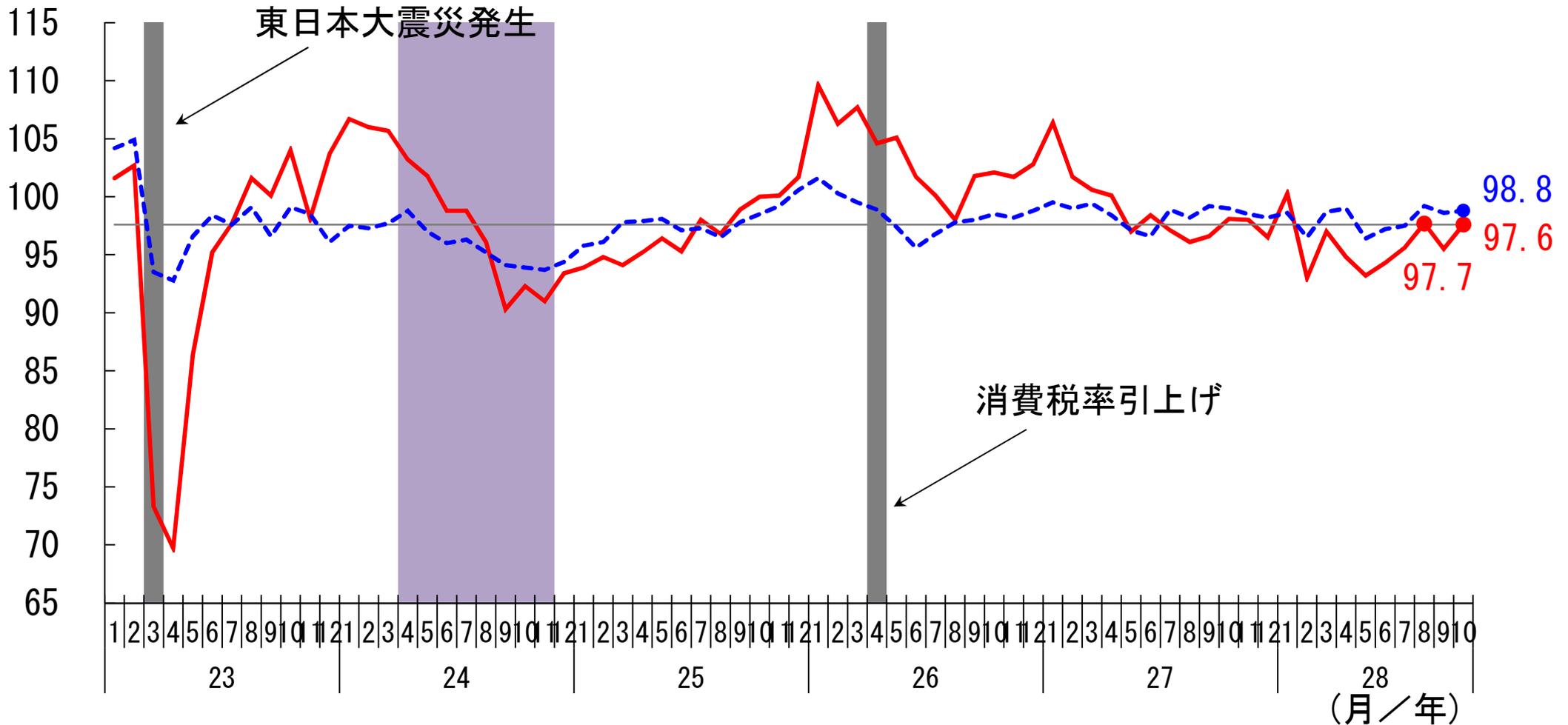
(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

機械工業と非機械工業の稼働率指数の動向

- 平成28年10月の機械工業の稼働率指数は97.6(前月比2.2%)と2か月ぶりの上昇。
平成28年8月の97.7以来の指数水準。
- 非機械工業の稼働率指数は98.8(前月比0.2%)と2か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)

— 機械工業 - - - 非機械工業



(注) 紫色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成28年10月の製造工業稼働率指数は、化学工業が低下したものの、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、前月比1.4%の上昇。

